

# 会報 こぶし

北陸電波学校  
北陸電波専門学校  
北陸電波高等学校  
金沢工業大学附属高等学校  
金沢工業高等専門学校  
国際高等専門学校  
金沢工業大学

VOL.  
**64**  
2019.7

## 第12回こぶし会総会を開催 金沢工大学園の発展に協力を

こぶし会全国支部代表者会議

若手育成への  
サポートを継続

INTERVIEW 泉屋吉郎理事長

学生時代の絆が  
同窓会を活発に



# 「平成」から「令和」へ

## INTERVIEW 泉屋吉郎 理事長



2019年5月1日、天皇陛下の即位に伴い、元号が「平成」から「令和」に改められ、新しい時代が幕を開けました。少子化対策など課題も少なくないなか、学校法人金沢工業大学（以下、学園）の泉屋吉郎理事長に、高等教育機関として果たすべき役割とこれからの同窓会との発展的な連携などについてうかがいました。

国際高専と金沢工業大学地方創生研究所が活動拠点とする「白山麓キャンパス」。EV蓄電、太陽光発電及び地元産木材チップを使ったバイオマス発電による小エリア直流電力網の実証実験も進められている



# 学生時代の絆が同

### 「知識から知恵への転換」を基礎に 9年間一貫教育が学びを深める

——「扇が丘キャンパス」「やつかほりサーチキャンパス」に続き、「白山麓キャンパス」を開設して教育研究環境を整えるなど、新たな技術者の育成に力を注いでいます。

私たちは、国内の高等教育機関としては、いち早く「SDGs」「Society5.0」「AI」「IoT」など新たな分野に取り組んできました。世界のすう勢を見ると、その方向性は正しかったと言えます。このような最先端の考え方を吸収する上で学園の基礎を担ってきたのが「知識から知恵への転換」です。前学長の石川憲一名誉学長が教育改革の柱に掲げたもので、学生は高度な知識を学ぶだけでなく、社会が求める知恵を考え出す力を身につけて巣立ちます。この考えは、グローバルイノベーターを育成するという現在の教育方針に引き継がれています。

これからの人材には、機械や電気といった専門技術、情報の知識・技術の活用、グローバルな経験という3つの能力が必要です。学園には、全国でも比類ない国

際高等専門学校を有しています。国際高専で5年間学び、金沢工業大学に編入して大学院を修了する5+4の「9年間一貫教育」は、私たちが提唱する新しい高等教育システムです。この基礎と応用の学びを深めていくことが、社会の発展に寄与する人材の輩出につながります。

### 人を育てることを最も大切に 時代の方向性を見定めて歩む

——開学以来、教育の支柱になってきたのが「人間形成」「技術革新」「産学協同」の建学綱領です。現代社会にも通じる素晴らしい理念だと思います。

私たちにとって建学綱領は“屋台骨”です。その中でも「人間形成」を最も大切にしています。国際社会における日本人としての誇りと使命感を養い、社会人としての価値観、倫理観を備えた「自ら考え行動する技術者」を育てることは、一人の人間の自立を促します。このような教育は、文部科学省が各大学の教育改革の取り組みの中から優れた取り組み（Good Practice）を選んで支援する「GP」選定プログラムにおいて、全国の国公私立大学の中でもトップクラスの

選定実績を誇り、優れていることが実証されています。

私たちの教育は、常に時代を見据えています。最近では「Society5.0」社会に対応した教育プログラムをいち早く導入し、「AI」「IoT」「ICT」を基礎科目として実施しています。そのような教育を実施するには、企業との連携が欠かせません。次の一步を見定めながら、より一層の努力を続けてまいります。

## 学術的な研究に重心を置かず 実用可能な研究に取り組む

——近年、学園は教育だけでなく、研究にも力を注いでいます。豊かな社会を実現する上で学園は、どのような役割を果たしていこうとお考えでしょうか。

学術的な研究は、社会の発展には欠かせないものです。しかし、その結果が社会に反映されるまでには、長い時間がかかってしまいます。そこで、私たちは、実用化につながる研究をテーマに選び、少しでも早く

# 窓会を活発に

社会にフィードバックすることを心がけています。学園の教員の5割が企業出身者であり、社会と同じ目線で研究に取り組むことができるのが強みです。

## 卒業生の頑張りが学園の名声高める 厳しい競争を乗り切るために学生支援を

——学園と卒業生はともに歩んできました。卒業生の活躍によって学園の名声が高まってきたという側面もあります。学園と卒業生の今後のあり方についてお聞かせください。

私自身、金沢高専（電気・昭和43年卒）と金沢工業大学（電気・昭和45年卒）の2期生です。卒業生の皆さんが誇りを持って社会に貢献してきたおかげで、学園の価値は高まってきたのだと実感しています。2040（令和22）年には、大学進学者数は51万人（現在は63万人）になると予想されています。これまでになく大学を取り巻く環境は厳しさを増しており、教育に特色があって、地域に欠かせない大学しか生き残ることはできません。学園の名声を高めていただいたように、もう一踏ん張りして学生を支援してほしいと

思っています。

## 学園の施設を利用してつながりを 学生同士が生み出す“情熱”が結束力に

——7万4,000人を超える大きな組織に成長したこぶし会とどのような連携をお考えですか。また、今後のこぶし会に期待することをお教えてください。

卒業生の皆さんには、どんどん学園の施設を使ってほしいと思います。例えば、白山麓キャンパスの地方創生研究所には宿泊施設があります。企業の社員研修の場として利用してもらい、組み込みソフトやAIなどを学ぶこともできます。このような中から卒業生と学園のつながりを強めることもできます。

もともと、私たちの学園は、学生同士の結束力が強かったと思います。学生同士がキャンパスの中で考えなどをぶつけ合った中から結束力は自然に生まれてくるものです。これからの時代は、人と人が触れ合う場所がますます必要となります。卒業生は、情熱を持って社会に貢献してほしいですね。そして、キャンパスで生まれた情熱は、学生同士が本気で心を通わせた証であり、そのような中で生まれた絆は、こぶし会を活発にすると考えています。



歩行支援機器のプロトタイプを虎ノ門キャンパスで実施し、扇が丘キャンパスのChallenge Labのリハビリ研究者と意見をリアルタイムで交わす



研究室の枠を超えて取り組むクラスター研究室では、VR型チェアスキーシミュレータを開発。仮想空間の斜面と連動して実空間の台座も動き、より臨場感が味わえる

# 第12回 こぶし会総会を開催

日時 ■ 令和元(2019)年6月8日(土)

場所 ■ 金沢工業大学多目的ホール



## 金沢工大学園の発展に 会員の一層の協力を

### 会長に松田真一氏を再任

総会では、初めに松田真一会長(大学・情報・昭和50年卒)が、「支部長をはじめとする皆さんのおかげで活発な支部活動ができましたことを感謝いたします。また、一昨年から工学アカデミア計画、夢考房プロジェクトについて、会員のご支援、ご協力をいただきました。今後も金沢工大学園の発展に寄与できるようご協力いただければ幸いです」と挨拶しました。また、来賓を代表して学校法人金沢工業大学の泉屋吉郎理事長が「7万4000人の会員は学園の宝物であり、社会的に認められているのは、卒業生の方のおかげです」と祝辞を述べました。

相沢英之氏(大学・情報・平成20

年卒)を議長に選任した後、平成30年度の事業報告と決算報告および令和元年度の事業計画と予算が報告され、承認を受けました。また、「金沢工業高等専門学校同窓会」の名称を「金沢国際高専同窓会」とするなどこぶし会会則等の改正が承認されました。最後に役員改選を行い、松田会長を再任したほか、新たに副会長1人と理事6人を選任しました。

再び重責を担うことになった松田会長は「2期目を任せていただくことになりました。少子高齢化の中、若い世代の参加、人材育成に取り組む所存です。これからの3年間、微力ながら頑張っていきます」と意気込みを語りました。

第12回こぶし会総会は金沢工業大学多目的ホールで191人が出席して開催され、同窓会組織として若い世代の育成を取り組むとともに、学園の発展に一層、協力していくことを確認しました。



「学園の発展を応援したいという方々が  
多いのは大変心強い」と話す松田真一会長



- ① 総会には泉屋吉郎理事長も出席し、同窓会との連携が大切だと強調しました
- ② 会員の理解が得られるよう、執行部からは詳細な説明が行われました
- ③ 全国各地から会員が出席しました
- ④ 一つ一つの報告をしっかりと受け止めました

## 〔各委員会から提示された事業計画〕

### 支部委員会

- 九州・沖縄地区支部長会議 = 5月11・12日、熊本県
- 中国・四国地区支部長会議 = 5月25・26日、徳島県
- 第12回こぶし会総会、保二会・高専同窓会・大学同窓会総会開催 = 6月8日、金沢工大
- 令和元年度全国支部代表者会議 = 6月8日、金沢工大酒井メモリアルホール
- 支部総会（拯友会日程） = 6月～7月
- 近畿地区支部長会議 = 6月29・30日、兵庫県
- 東北・北海道地区支部長会議 = 7月13・14日、秋田県
- 東海地区支部長会議 = 9月21・22日、三重県
- 第25回全国一斉ボウリング大会 = 11月上旬

### 企画委員会

- サマーセッション in 穴水 2019 = 7月26～28日、穴水湾自然学苑
- 第23回こぶし会ゴルフ大会 = 9月14日
- 第19回こぶし祭 = 10月19・20日（工大祭・高専祭）

### 会報委員会

- 「会報こぶし」64号（7月）発行
- 「会報こぶし」65号（令和2年1月）発行

## 〔こぶし会役員一覧〕 ※は新任役員

### ■ 名誉会長

黒田 壽二 （保二会・昭和35年卒、大学・電気・昭和44年卒）

### ■ 名誉副会長

神 亮一 （保二会・昭和37年卒）

### ■ 相談役

大澤 敏 （大学学長）

ルイス・パークスデール（高専校長）

### ■ 会長

松田 真一 （大学・情報・昭和50年卒）

### ■ 副会長

竹蔭 茂孝 （保二会・昭和40年卒）

野中正樹 ※（高専・機械・昭和49年卒）

殿村 和也 （大学・土木・昭和57年卒）

### ■ 理事

中野 忠史 （保二会・昭和38年卒）

水野 四郎 （保二会・昭和39年卒）

北山 博 ※（高専・電気・昭和59年卒）

西谷 隆司 （高専・電気・昭和53年卒）

小寺 賢一 （大学・機械・昭和53年卒）

藤井 弘史 （大学・電子・昭和56年卒）

高木 由次 （大学・経営・昭和50年卒）

中島 俊幸 （大学・土木・昭和50年卒）

古橋 孝実 ※（大学・建築・平成8年卒）

加原 智彦 （大学・情報・平成7年卒）

村井 宜延 ※（大学・心理・平成22年卒）

伊勢 陽一 （大学・土木・昭和51年卒）

中村 幸蔵 （大学・電子・昭和63年卒）

波多野 篤志 ※（大学・土木・昭和60年卒）

阪口 龍平 （大学・建築・昭和53年卒）

烏谷 伸 （大学・土木・昭和51年卒）

橋口 芳仁 （大学・土木・昭和47年卒）

百万 光生 （大学・経営・昭和51年卒）

寺田 正人 （大学・土木・昭和54年卒）

早川 義造 ※（高専・電気・昭和43年卒）

源野 統夫 （大学・建築・平成2年卒）

谷口 孝一 ※（校友会事務局）

### ■ 監事

野村 太慶司 （保二会・昭和37年卒）

釜戸 吉一 （高専・電気・昭和49年卒）

太田 詩朗 （大学・機械システム・平成7年卒）

### ■ 参与

川向 義朗 （大学・経営・昭和48年卒）

野村 外茂雄 ※（高専・電気・昭和44年卒）

## 金沢国際高専同窓会に名称変更

### 新会長に野中正樹氏（機械・昭和49年卒）

総会は令和元（2019）年6月8日、金沢工業大学多目的ホールで23人が出席して開催され、会員同士が結束していくことを誓い合いました。

総会では早川義造会長が「金沢高専は昭和42（1967）年に第1期生が卒業し、今年3月には校名変更した国際高等専門学校卒業生が同窓会に入会しました。最近では、高専の役割も変わり、即戦力の技術者ではなく、国際的に通用する技術者が必要とされる時代に移り変わりました」と挨拶しました。ルイス・パークスデール校長が祝辞を述べました。

この後、北川千里さん（機械・昭和57年卒）を議長に選びました。西谷隆司副会長から平成30（2018）年度の事業報告と決算報告、令和元年度の事業計画ならびに予算について報告し、拍手をもって全議案が承認されました。最後に役員改選が行われ、野中正樹氏を新会長に選びました。野中会長は「金沢高専が国際高専になりましたが、私にできることは精一杯頑張りたい」と抱負を述べました。



新会長挨拶

金沢高専から国際高専へ  
同窓会を変革する好機

私たちが学生時代を過ごした金沢高専は、国際高専と名称を変更し、グローバルに活躍できる学生を育てる学校となりました。このような時代に同窓会として何ができるのかを考え、新たなカリキュラムで学習した卒業生を受け入れる体制を整えたいと思います。同窓会を変革するチャンスとして捉え、積極的に事業を展開します。



新会長に就任した  
野中正樹氏

## 新しい事業を展開

### 会員同士の絆を深く

保二会総会は令和元（2019）年6月8日、金沢工業大学酒井メモリアルホールで28人が出席して開催されました。

総会では竹島茂孝会長の代理として、中野忠史副会長が「北陸電波学校から金沢工業大学附属高校までの間に、多くの卒業生が社会に巣立ち、私たちは金沢工業大学の礎として活躍してきました。ここに集う皆さんの心意気で保二会を盛り上げましょう」と挨拶しました。

引き続き、玉井清宏さん（昭和39年卒）を議長に選び、水野四郎幹事長が平成30（2018）年度、令和元年度の事業計画ならびに予算について報告し、すべての議案が承認されました。中野忠史副会長は「これまで文化講座などの行事を実施してきましたが、新しい事業にも取り組みたい」と述べました。



## 声掛けで参加者の増加を

### 昨年からホームカミングデー開催

大学同窓会総会は令和元（2019）年6月8日、金沢工業大学多目的ホールで192人が出席して開催されました。

総会では殿村和也会長が「大学同窓会は6万6000人を超える同窓会に成長しました。昨年からは『ホームカミングデー』を開催しており、卒業生の皆さんには母校に帰ってほしい」と挨拶し、大澤敏学長が祝辞を述べました。

この後、佐藤和仁さん（建築・昭和59年卒）を議長に選び、横木尊さん（ロボティクス・平成26年卒）が平成30（2018）年度、令和元年度の事業計画と予算について報告し、拍手をもって全議案が承認されました。再任された殿村会長は「私が先輩の声掛けで同窓会活動を始めたように、皆さんも卒業生に声を掛けていただき、多くの方が参加する同窓会にしたい」と語りました。



## 機扇会総会

### 世代を越えた交流で活性化

機扇会総会は令和元(2019)年6月8日、金沢工大7号館で会員、学園関係者ら37人が出席して開かれました。

総会では、中田政之会長(昭和

61年卒)が「同窓生同士の交流を継続して続け、活性化につなげたい」と挨拶しました。また、今後も交流会やイベントを実施していく方針が示されました。



同窓生の幸せが母校の発展につながります



総会では久しぶりに再会する卒業生が集まりました

## 琥睦会総会

### 荻田幸男氏(電気・昭和44年卒)を再任

琥睦会総会は令和元(2019)年6月8日、金沢工大7号館で開催しました。再任された荻田会長は「情報社会が急速に伸展し、会員の活躍が期待される」と挨拶しました。平成30

(2018)年度と令和元年度の事業計画などを承認し、役員改選では津田敏宏氏(電気・平成15年卒)と田中啓照氏(電子・平成10年卒)を新理事に選びました。

## ながつき会総会

### 新会長に橋場正明氏(土木・平成8年卒)

ながつき会総会は令和元(2019)年6月8日、金沢工大7号館で27人が出席して開かれ、新会長に橋場正明氏を選びました。

平成30(2018)年度と令和元年

度の事業報告など、役員改選について承認しました。橋場新会長は「これまでの先輩方が築かれた伝統を守るとともに、会の発展に尽くしたい」と挨拶しました。



ながつき会会員の一層の団結を誓いました

## こぶし会懇親会

### 学園と共に同窓会も変革・これまで以上に母校と連携。

こぶし会懇親会は、金沢工業大学21号館「ラテラ」で開かれ、出席者たちは久しぶりの再会を喜び合いました。

最初に、嶋田喜一郎こぶし会総会実行委員長、松田真一会長が挨拶し、来賓を代表して黒田壽二学園長が「これから世界が変わっていくように、学園も変わっていかねばならない」と述べた後、力強い発声で乾杯を行いました。

ステージイベントとして、米森信夫さん(高専・機械・昭和45年卒)のバンド「米森信夫とパーフェクト」が「テネシーワルツ」「ベサム・チョ」などジャズを演奏しました。

また、恒例となった大抽選会では、神亮一名誉副会長と松田真一会長がくじを引き、当選した会員たちは喜びの表情を見せていました。懇親会のクライマックスでは、各同窓会の会員が前に出て校歌を熱唱し、思い出の詰まった歌声が会場に響きました。



各学校の校歌が流れると学生時代を思い出して思わず歌を口ずさんでいました



会場は大いに盛り上がり、そこかしこで笑顔が広がりました



全国の支部が厳選した銘酒が集まり出席者を喜ばせました



米森信夫さんが長年愛用したアルトサックスで美しい音色を奏でました

こぶし会

# 新会員の加入で74,214人に 高専・大学でこぶし会入会式

こぶし会入会式は、平成31(2019)年3月15日に高専同窓会、3月20日に大学同窓会がそれぞれ行われ、若さあふれる1,592人の会員が加入しました。

学位授与式後に行われた大学同窓会入会式には、松田真一こぶし会会長、早川義造高専同窓会会長、殿村和也大学同窓会会長が出席し、新会員に対して歓迎と激励の言葉を贈りました。

各会長からの祝辞を受け、幹事代表として高専では小西歩さん(機械工学科)、大学では矢沢諒平さん(建築学科)が「私たちは各人が持てる力を遺憾なく発揮し、会の発展に寄与いたします」と力強く入会の詞を読み上げました。

新たに加わった新会員は、高専同窓会が81人、大学同窓会が1,511人で、こぶし会の会員数は74,214人となりました。



入会の詞を読み上げる大学同窓会幹事代表の矢沢諒平さん

積み木会

建築学科・居住環境学科・  
建築都市デザイン学科・建築デザイン学科

## 懐かしいメンバーと再会

### 鈴木ゼミ2期生同窓会

第5回鈴木有ゼミ(建築学科)2期生同窓会は平成30(2018)年10月27日、滋賀県近江八幡市のグリーンホテル Yes 近江八幡で開かれ、懐かしいメンバーとの再会を喜びました。

2期生同窓会に初めて参加し、メンバーの顔を見るのは卒業式以来という人も多く、そこかしこで「久しぶり」と声を掛ける光景が見られました。

2期生を指導していただいた鈴木先生は当時、研究者から教育者になったばかりでした。教育方針を模索する中、本気でぶつかってくる学生に対して、鈴木先生も全力で向き合い、何事にも手を抜かない厳しいゼミでした。

この同窓会は、家族を大事にされる鈴木先生が奥様と一緒に参加されていたことから、できるだけ夫婦同伴で参加することになっています。今回も参加した9人の内



今後も同窓会の開催を誓ったメンバーの皆さん

の6人が夫婦同伴で参加しました。「卒業後も長いつながりを持ち合える関係を築いてほしい」という鈴木先生と亡き奥様の思いが受け継がれていると言えます。

同窓会は、参加者全員の近況報告と家族の紹介に始まり、参加した6人の奥様から先生の亡き奥様にゆかりのある品を手渡しました。会場を変えて深夜まで歓談し、次回の開催地を決めてお開きとなりました。

(原稿執筆：香川支部長・米田卓さん)

## 機扇会

機械工学科・機械システム工学科・物質応用工学科・先端材料工学科・  
物質システム工学科・ロボティクス学科・航空システム工学科

# 389人が新たに会員に

## 優秀な卒業生 39 人に機扇会賞を授与

機械系 3 学科の学部 4 年次 389 人が平成 31 (2019) 年 3 月 20 日に卒業し、学位記手渡し式とともに機扇会入会式を開催しました。

式では、優秀な卒業生 39 人に機扇会賞を贈り、卒業を祝いました。入学当初は、あどけない表情であった学生は、学業や課外活動などを通じて自信に満ちた表情を見せ、卒業生全員の今後の活躍が期待されます。

新たに加わった卒業生を含め、機

扇会の正会員は 15,376 人となりました。機扇会では、こぶし祭や全国一斉ボウリング大会への参加や交流会の企画など、同窓会の活性化を図っています。さらに、今年 6 月 8 日には 3 年に一度の機扇会総会を扇が丘キャンパスで開催しました。若い世代からシニア世代まで幅広い年齢層の方々との出会いや交流によって、普段の生活の中では得られない新しい良い縁が生まれています。会



学生の4年間の努力を称えました

員の皆さんの積極的な参加を心よりお待ちしております。

## 経工会

経営工学科・経営情報工学科・情報マネジメント学科・情報経営学科・経営情報学科

# 再生可能エネルギーの推進に理解

## 第 35 回異業種交流会

第 35 回異業種交流会は平成 31 (2019) 年 1 月 27 日、ANA ホリデイ・イン金沢スカイで開かれ、会員と教員 21 人が出席し、金沢工業大学産学連携室の鈴木康允教授が「白山麓の将来構想について」をテーマに講演しました。

鈴木教授は、白山麓キャンパスにおいて進む再生可能エネルギーによる地産地消の実証実験について説明し、「小エリアでの直流電力網は、『SDGs』(持続可能な開発目標)を実現するためにモデルケースとなる」と話し、今後の取り組みに期待を寄せました。



### 経工会総会&穴水サンセットセッション

今年は穴水サンセットセッションに加えて総会を開催します。ぜひご参加ください。

- 日時 令和元(2019)年  
9月7日(土)~8日(日)
- 場所 金沢工業大学穴水湾自然学苑

#### [ 申し込み ]

事前に経工会ホームページから申し込みか、こぶし会事務局までご連絡ください。

URL : <https://kit-ie.org/>



### 第 36 回異業種交流会

こぶし会会員ならどなたでもご参加できます!

- 日時 令和元(2019)年 9月 1日(日)  
10:00より受付開始、10:30開始
- 場所 ANAホリデイ・イン金沢スカイ  
(金沢市武蔵町)
- 会費 2,000円  
(昼食代込み、ただし講演聴講のみは無料)

講師、演題等の詳細は決定次第、経工会ホームページにてお知らせします。

へいゆうかい  
平結会

人間情報工学科・環境システム工学科・バイオ化学科・環境化学科・  
生命情報学科・心理情報学科・応用バイオ学科・応用化学科

## 同窓会活動に協力を

### 卒業記念パーティー&入会式

平結会の卒業記念パーティー&入会式は平成31(2019)年2月14日、金沢工業大学21号館レストラン「ラテラ」で開かれ、心理情報学科、応用バイオ学科、応用化学科を卒業予定の学生や教員ら50人が参加し、これからの社会での活躍を誓い合いました。

学生たちは、プロジェクトデザインⅢ(卒業研究)公開発表審査会を終えたばかりとあって、安堵の表情を浮か

べていました。最初に中屋真悟会長(平成11年卒)が平結会の成り立ちを説明し、「同窓会活動への理解と協力をお願いいたします」と挨拶しました。引き続き、袴田佳宏教授が乾杯の発声を行った後、ビンゴ大会が行われました。最後に長尾隆司教授が閉会の



一層の団結を誓い合い、笑顔を見せる皆さん

挨拶を行い、閉会しました。

また、応用バイオ学科を退任される河原哲夫教授に感謝の気持ちを込めて花束を贈呈しました。

ながつき会

土木工学科・環境土木工学科

## 8月3日(土)に実施

### 現場研修会

夏の訪れを告げる「現場研修会」を右記の日程で実施いたします。今回は、2020年完成予定の「鼠多門・鼠多門橋の復元整備事業」と、日本海側の拠点港を目指す「金沢港機能強化整備事業」を訪れます。

- 日時 令和元年(2019)8月3日(土)  
8:30~14:00  
※雨天決行(荒天時は中止の場合あり)
- 集合場所 金沢工大正面駐車場
- 定員 40人程度(お子様の参加可)
- 参加費 2,000円(昼食代込み)
- 申し込み こぶし会事務局まで

高専同窓会

## 10月5日(土)に開催

### 金沢歴史探訪

毎年恒例の金沢歴史探訪を下記の日程で開催します。訪れる場所とテーマについては、後日、決定します。どなたでも参加できますので、多くの方の参加をお待ちしております。



昨年開催された金沢歴史探訪の様子

- 日時 令和元(2019)年10月5日(土)
- 内容 ボランティアガイド「まいどさん」が案内します。詳細はこぶし会事務局に問い合わせの上、お申し込みください。
- 会費 2,000円程度(昼食代込み)

扇翔会

情報処理工学科・情報工学科・  
メディア情報学科

## 扇翔カフェを10月に

### こぶし祭の19日(土)に開催

「扇翔カフェ(卒業生懇親会)」を開催いたします。学科の現状報告および在学生との交流を企画しております。情報処理工学科、情報工学科、メディア情報学科の卒業生の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

- 日時 令和元(2019)年10月19日(土) ■会費 無料
- 場所 金沢工業大学内 ※開催場所・時間の詳細は決まり次第、Facebook(<https://www.facebook.com/sensyoukai>)で案内いたします。
- 申し込み締切日:令和元(2019)年10月12日(土)
- 申し込み:小松義明(平成22年卒)  
E-Mail: sensyoukai@mlist.kanazawa-it.ac.jp

PLUS  
大学

## 次世代教育環境の構築へ連携

### 金沢工大とNTT 西日本

金沢工大とNTT 西日本は平成 31 (2019) 年 3 月 20 日、Society5.0 社会に向けた次世代教育環境の構築に関する連携協定を締結しました。ICT 技術を取り入れた教育環境の向上や質の高い技術者の育成を目指します。

Society5.0 社会では、AI・IoT・ICT が融合した高度な情報技術社会が形成され、「現実」が「サイバー空間×フィジカル空間」で構成されます。このような社会をリードする人材は、高度な情報技術と複数の専門分野と実践的なスキルを身につけている必要があります。社会をリードする人材を育成するため、金沢工大では、全学的な情報技術教育と 6 年制メジャー・マイナー制度、産学連携を推進し、Society5.0 に対応できる人材育成を目指しています。

当日は調印式に先立ち、NTT 西日本金沢支店の小川成子支店長が、熊本県と台湾の小学校とがテレビ会議システムで文化や教育の交流を図った事例などを紹介。大澤敏学長が「地方発の国際共創イノベーションを創出し、海外の大学や企業とグローバルな社会実装

型の教育を展開したい」と語りました。

この後、金沢工大が導入した高臨場感のテレビ会議システムを使って、東京の NTT 西日本の技術者とリアルタイムでつながり、北陸では初となる多層空中表示装置のデモンストレーションを行いました。



協定書に署名する大澤学長（左）と小川支店長

PLUS  
高専

## 景観大賞(知事表彰)を受賞

### 第 25 回いしかわ景観大賞

石川県の平成 30 (2018) 年度いしかわ景観大賞の表彰式が平成 31 (2019) 年 2 月 20 日、石川県庁で行われ、金沢工大・国際高専の白山麓キャンパスが景観大賞(知事表彰)を受賞しました。

当日は、谷本正憲知事が事業者、設計者、施工者に表彰状を贈りました。受賞理由としては、傾斜のある



地域に配慮したデザインを採用

屋根を連ねて雪深い地域の特徴を捉えたことに加え、木材を構造・外装に多用し、周辺の自然と調和させた点が評価されました。

PLUS  
大学

## SDGs カードゲームが製品化

### 学生と民間会社が共同開発

金沢工大の学生プロジェクト「SDGs Global Youth Innovators」と株式会社リバースプロジェクト(東京)が共同開発したカードゲーム「THE SDGs アクションカードゲームX」が令和元(2019)年5月に販売を開始しました。

このゲームは、国連が定める SDGs (持続可能な開発目標) について、楽しみながら考えるきっかけを提供します。金沢工大 SDGs 推進センター Web から無料ダウンロード



年齢や国に応じたバージョンがあります

できますが、製品化の要望が多かったことからクラウドファンディングで資金を集め、製品化しました。

## 令和元（2019）年度こぶし会全国支部代表者会議



# 若手育成へのサポートを継続 北信越地区などの会議の実現を

こぶし会全国支部代表者会議が令和元（2019）年6月8日、金沢工業大学内の酒井メモリアルホールで開催され、全国から支部代表者と支部委員らが出席し、こぶし会の根幹を成す支部活動に若手会員の参加を促す方策について検討しました。

会議では、これまでに各支部から要望のあった事案について、執行部から説明がありました。まず、早川義造副会長が「各地区の支部長会議の開催については今後も検討していきたい」としました。続けて、地区ごとに開かれている支部長会議は年々、重要度が増しており、「関東（茨城、栃木、群馬、山梨）と北信越（新潟、富山、石川、福井、長野）地区が参加していない状況は望ましくないため、各支部と調整して参加する場を設けたい」との方針が示されました。

また、殿村和也副会長から同窓会開催を支援する事業について説明があり、「会員には積極的に活用してほしい」と呼び掛けました。このほか、「若い世代の

参加を促すために補助金の拡大を検討している」といった報告がされました。さらに、「県外の理事の負担を少しでも軽減するため、テレビ会議システムの導入を検討している」ことも紹介しました。

各支部からは「北信越で支部長会議を開催するには、新潟から福井までの距離はかなり長いことから、そういった点も考慮する必要がある」「こぶし会の将来のあり方を明確にする議論をしてはどうか」といった意見も聞かれました。

この後、石川憲一名誉学長が工学アカデミア計画「特別奨学制度」の寄付金募集への協力を呼び掛け、令和3年度の全国支部代表者会議の開催地を奈良県に決め、閉会しました。



執行部に対して意見を述べる坂本誠二福島支部長



こぶし会の発展のため、熱心な議論が交わされました



### 新支部長紹介

新しく就任された支部長をご紹介します。

#### 静岡支部

勝又宏幸さん  
(大学・建築・平成2年卒)

## 九州・沖縄地区支部長会議

### SNSが活動につながる 開催時期の固定も検討を

令和元(2019)年度の九州・沖縄地区支部長会議が5月11日、熊本県水俣市の「湯の児 海と夕やけ」で開かれ、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の支部長ら18人が出席し、同窓会活動に参加する会員増加に向けて話し合いました。

会議では、源野統夫支部委員長が「皆さんの日ごろの活動がこぶし会を支えている。今回は会員の参加を増やすために知恵を絞りたい」と挨拶し、開催支部の耕英一熊本支部長が歓迎しました。

この後、各支部が活動内容を報告しました。福岡支部は「SNSでつながった会員が活動に参加するケースが増えている」とし、宿泊型の支部総会開催も検討するなど取り組みを紹介しました。また、長崎支部は「支部総会の申し込みハガキが欠席でも、メッセージを書いている方に声をかけると参加につながることもある」と語りました。

また、「支部総会の申し込みハガキだけに頼らず、直前に声をかけてフォローすることが大切」「開催時期を固定する方が参加人数を確保できる」「転勤した会員の情報を共有していきたい」といった声もありました。会議に同席した泉屋吉郎理事長からは「支部活動の努力を肝に銘じ、今後の支援策を検討したい」との方針が示されました。



## 中国・四国地区支部長会議

### 県をまたいで交流が盛んに 世代交代で活動の刷新を

令和元(2019)年度の中国・四国地区支部長会議が5月26日、徳島県徳島市の「ザ・グランドパレス徳島」で開かれ、9県(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)の支部長ら22人が出席し、新たな支部活動のあり方について検討しました。

最初に、松田真一こぶし会会長が「学園の発展に伴い、支部活動は新たな局面を迎えている。さらなるご協力をお願いしたい」と述べた後、開催支部の岡田晋徳島支部長が挨拶しました。

会議では、それぞれの支部で実施している活動状況について報告しました。岡山支部は「バーベキュー開催が5年目を迎え、当初は鳥取支部と岡山支部だけの参加だったが、他県からの参加者も増えて盛り上がっている」と県をまたいでの交流が活性化につながっている事例を紹介しました。また、香川支部が「継続的に参加する30～40代の会員を増やしたい」と話しました。

このほか、山口支部は「山口県は東西に長く、支部総会は宿泊することを前提に対応をしていきたい」、島根支部は「支部活動を刷新するために、世代交代を進めることを検討している」などの意見があり、LINEで会員間の連絡網を作っていくという案もありました。会議には泉屋吉郎理事長も出席しました。



## 令和元(2019)年度こぶし会支部総会のお知らせ

### ■ 東北・北海道エリア

道東	7/27(土)
岩手	7/6(土)
宮城	8/31(土)
秋田	7/13(土)
山形	11月初旬
福島	8/3(土)

### ■ 関東エリア

茨城	7/20(土)
栃木	7/6(土)
群馬	7/6(土)
関東こぶし会	7/19(金)
(埼玉・千葉・東京・神奈川)	

### ■ 北陸・甲信越エリア

富山	10/12(土)
高岡	9月初旬
福井	7/13(土)
山梨	7/5(金)

### ■ 東海エリア

岐阜(岐阜)	7/20(土)
岐阜(高山)	7/13(土)
三重	7/20(土)

### ■ 近畿エリア

滋賀	7/6(土)
京都(京都)	7/20(土)
京都(福知山)	7/27(土)
京都(舞鶴)	7/28(日)

大阪・兵庫	11/9(土)
奈良	7/13(土)
和歌山	7/6(土)

### ■ 中国エリア

鳥取	7/27(土)
島根	7/27(土)

### ■ 四国エリア

香川	7/5(金)
高知	7/20(土)

### ■ 九州エリア

福岡	8/3(土)
長崎	9/14(土)
宮崎	7/6(土)

※札幌、青森、新潟、静岡(静岡)、静岡(浜松)、岡山、広島、山口、徳島、愛媛、佐賀、大分については6月末までに終了いたしました。

※長野、愛知(豊橋)、愛知(名古屋)、熊本、鹿児島、沖縄の各支部は日程が決まり次第、ご連絡いたします。

詳細は  
こぶし会ホームページ  
をご覧ください。



ちょっとした気分転換ができる  
クイズを用意しました。  
ご家族で楽しんでください。



**KIT検定(上級編)**

以下の金沢工業大学に関する記述のうち、まず○、△、□の部分をはらがなで埋めてください(○、△、□は各1文字)。それぞれの単語を表のマス目に残さずに当てはめ、A~Eに入る文字を順に並べてできる言葉を教えてください。

**ヒント**  
スケルトンと呼ばれるパズルです。タテは上から下に、ヨコは左から右に単語を記入します。また、タテとヨコが重なる部分は同じ文字が入ります。

**■ 学園のあゆみ⑫ 平成24年**

- H24/4/1 大学○○○○○○○○○○○○○○○○、情報学部を情報○○○○○○○学部に変更。  
○○○○○工学科を情報学部から○○○  
○○へ変更。  
情報通信工学科、情報経営学科、建築都市デザイン学科を○○○○○○○○通信工学科、○○○○情報学科、建築○○○○○学科に名称変更。  
情報○○教育研究センター開設  
○○○○○○△△△△□□□□研究所開設
- H24/8/1 ○○○○△△△△□□□□研究所開設
- H24/9/21 ○○○○○○○○& デザイン○○○○○開設

【注意】○、△、□がつながって1つの単語(もしくは単語の一部)になっている箇所がありますが、これは○、△、□をそれぞれ1つの単語として分割し、それを表の各マス目に当てはめてください。

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

※学園のあゆみは、金沢工業大学ホームページの『教育情報の公表』の項目で、「教育情報公表資料」内の「付記 沿革」資料に掲載されています。

**応募のきまり**

- 応募方法**  
同封しているインフォメーションカードにクイズの答えを**はらがな**で記入してお送りください。正解者の中から抽選で10名の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。
- 締切**  
令和元年9月30日(月)当日必着
- 発表**  
正解は令和元年10月11日(金)にこぶし会ホームページ上で発表します。

**インフォメーションカードの記入例**



# こぶし会 会計報告

## 平成30年度 保二会決算書

■収入の部 H.30/4/1-31/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	66,684
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		66,684

### ■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	31,080
助成費	助成費	35,604
慶弔費	慶弔費	0
繰越金	繰越金	0
合 計		66,684

## 令和元年度 保二会予算書

■収入の部 H.31/4/1-R.2/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	333,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		333,000

### ■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	178,000
助成費	助成費	125,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		333,000

## 平成30年度 こぶし会決算書

■収入の部 H.30/4/1-31/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	46,740,000
	維持会費収入	3,644,870
寄付金収入	寄付金収入	0
基本財産運用収入	基本財産運用収入	648,101
雑収入	預金利息収入	740
	その他の収入	5,341,132
繰越金収入	繰越金収入	9,057,797
合 計		65,432,640

### ■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	2,057,355
事業費	会報費	19,511,424
	支部費	17,308,353
	企画運営費	5,877,522
同窓会助成費	保二会	66,684
	高専同窓会	478,783
	大学同窓会	3,986,362
学生支援事業費	学生支援事業	149,500
積立基金	積立基金	0
その他の支出	その他の支出	0
繰越金	繰越金	15,996,657
合 計		65,432,640

## 平成30年度 金沢工業高専同窓会決算書

■収入の部 H.30/4/1-31/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	478,783
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		478,783

### ■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	369,653
助成費	助成費	109,130
慶弔費	慶弔費	0
繰越金	繰越金	0
合 計		478,783

## 令和元年度 金沢国際高専同窓会予算書

■収入の部 H.31/4/1-R.2/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	797,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		797,000

### ■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	567,000
事業費	事業費	200,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		797,000

## 令和元年度 こぶし会予算書

■収入の部 H.31/4/1-R.2/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
会費収入	正会員会費収入	47,460,000
	維持会費収入	4,000,000
	総会会費収入	750,000
基本財産運用収入	基本財産運用収入	1,329,000
雑収入	預金利息収入	1,000
	その他収入	4,721,000
繰越金収入	繰越金	15,996,657
合 計		74,257,657

### ■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	3,429,000
事業費	会報費	20,181,000
	支部費	18,981,000
	企画運営費	8,505,000
	総会費	6,337,000
同窓会助成費	保二会	333,000
	高専同窓会	797,000
	大学同窓会	5,489,000
積立基金	積立基金	0
予備費	予備費	10,205,657
合 計		74,257,657

※ 6月20日に正会員会費収入が確定

## 平成30年度 金沢工業大学同窓会決算書

■収入の部 H.30/4/1-31/3/31		
大科目	中科目	決算額 (円)
活動費収入	活動費収入	3,986,362
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		3,986,362

### ■支出の部

大科目	中科目	決算額 (円)
経常費	事務局費	394,700
助成費	学科助成費	1,181,995
	在学生助成費	1,836,549
	助成費	573,118
	慶弔費	0
繰越金	繰越金	0
合 計		3,986,362

## 令和元年度 金沢工業大学同窓会予算書

■収入の部 H.31/4/1-R.2/3/31		
大科目	中科目	予算額 (円)
活動費収入	活動費収入	5,489,000
繰越金収入	繰越金収入	0
合 計		5,489,000

### ■支出の部

大科目	中科目	予算額 (円)
経常費	事務局費	492,000
事業費	学科助成費	1,887,000
	在学生助成費	1,880,000
	助成費	1,200,000
慶弔費	慶弔費	30,000
合 計		5,489,000

こぶし会PRESENTS

# クイズの学園

Vol.15

63号の  
答え

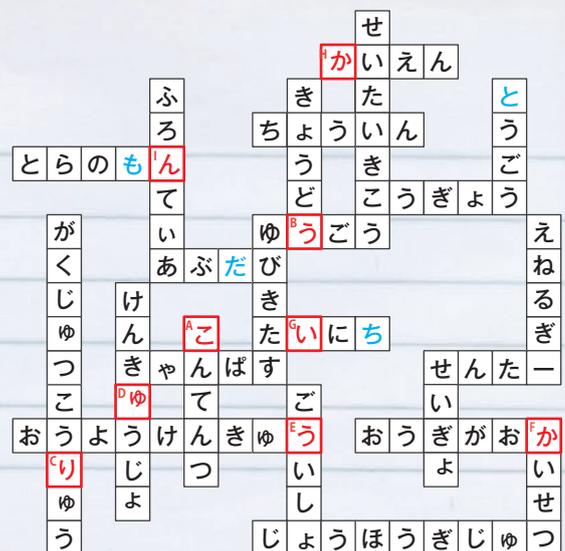
## KIT検定(上級編)の答え

パズルは下の通りになります。

パズル内のA~Iの文字を拾って並べると

Aこ Bう Cり Dゆ Eう Fか い Hか Iん

となります。



# 第19回 こぶし祭を開催!

# 令和祝

令和元年 10月  
19土・20日  
10:00~17:00

## 新しい時代を皆さんで盛り上げよう

こぶし会の恒例イベント「こぶし祭」を今年も開催します。昨年と同様、高専祭と工大祭が同じ日に開かれることになり、10月19日、20日の2日間、実施されます。リピーターも少なくない全国から集まった特産品が並ぶ「こぶし屋」、豪華賞品が当たる「大抽選会」など、令和元年にふさわしい楽しい祭りにしていきますので、ぜひ会場に足を運んでください。



### 会報こぶし

## オリジナル 応募クイズ

### こぶし祭の会場で抽選します。

「こぶし祭の大抽選会に参加したいけど行けない」という会員の方にも豪華賞品が当たるチャンスがあります。それが『オリジナル応募クイズ』です。応募クイズの問題の解答をハガキに書き、応募券を貼って送るだけなので簡単。豪華賞品がゲットできるかもしれません。こぶし祭の10月19日に抽選します。



賞



1名

思い出鮮やかに残す  
ミラーレスカメラ



賞



1名

早く乾いて髪に優しい  
ヘアドライヤー

※写真はイメージであり、実際の賞品と異なる場合があります。



1名

ワイヤレスでクリアーに  
ブルートゥース  
ヘッドホン



賞



1名

夜間を明るく照らし出す  
LEDライト



賞

1名

ふっくらと焼ける  
トースター

6等  
輪島塗箸 10名

### 応募方法

『会報こぶし』の巻末ページに付いている応募券を切り取って郵便ハガキに貼り、クイズの答えとあなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号、卒業年、同窓会名(保二会、高専、大学のいずれか)を記入し、下の宛先までお送りください。正解者の中から厳正な抽選のうえ、当選者を決定いたします。なお、抽選会は、10月19日(土)の第19回こぶし祭で行われ、当選者はこぶし会ホームページで発表します。

#### 宛先

〒921-8501  
野々口市扇が丘7番1号  
金沢工業大学内 こぶし会事務局  
第19回こぶし祭  
『オリジナル応募クイズ』係

#### 記入例 ⇨

ハガキ裏面		応募券を貼る
	クイズの答え	
	郵便番号	〒000-0000
	住所	〇〇〇〇〇〇
	氏名	〇〇 〇〇
	電話番号	000-000-0000
卒業年	〇〇〇	
同窓会名	〇〇〇〇	

#### 締め切り

令和元年10月4日(金)  
当日消印有効



## ★応募クイズ★

新元号は  
何でしょうか?

# KITホームカミングデー

令和元年 **10月19日(土)**

受付場所 / **23号館**

受付時間 / **12:00~14:00**

## 卒業生と教員交流会

会場 **21号館** 時間 **14:00~16:00**

交流会には、大学時代にお世話になった恩師も駆け付けます。輝かしい記憶として刻まれたあの頃を思い出してみませんか。

参加予定の教員(退職の方を含む)の方々

加藤秀治	藤本雅則	畠田道雄	坂本康正
野口啓介	藤木信彰	南戸秀仁	阿部倫之
鷹合大輔	河並 崇	中沢 実	宮里心一
浦 憲親	高山 誠	永野紳一郎	下川雄一
神宮英夫	渡邊伸行	長尾隆司	袴田佳宏
露本伊佐男	土佐光司	三嶋昭臣	大林博一
金光秀和 <small>ほか</small>			

卒業生の皆さんを年に一度、金沢工業大学にお招きし、懐かしい同窓生や恩師と再会したり、学生と親交を深めたりしてもらうイベントを開催します。当日は、キャンパス見学ツアーも用意しています。また、第2期生の卒業生の皆さんをご招待して卒業50年セレモニーを開催いたします。母校に帰ってくる皆さんをお待ちしております。

■お申し込み締め切り

令和元年9月30日(月) \ 当日参加歓迎 /

■お問い合わせ先

ホームカミングデー実行委員会  
TEL.076-294-6375 (校友会事務局)



KIT ホームカミングデー

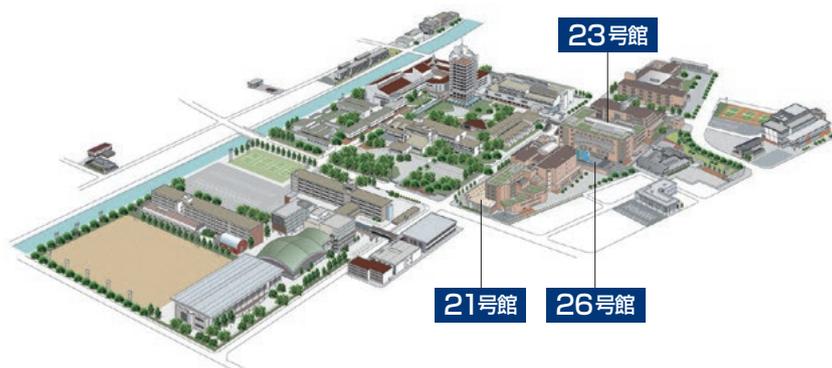
検索

参加される方は事前に特設ウェブサイトからお申し込みください  
<https://secure.kanazawa-it.ac.jp/event/homecoming>

**卒業50年セレモニー**  
会場:26号館 13:00~14:00

タイムスケジュール	
卒業生の方	2期生の方
12:00	
13:00	受付*
14:00	卒業50年セレモニー
15:00	卒業生と教員交流会
16:00	

※キャンパス見学ツアーも実施します。



## こぶし会 卒業生の同窓会開催を支援

支援内容 1団体ごとに1人500円相当の金券もしくは記念品のいずれかを提供します。

こぶし会では、卒業生のクラス会や研究室(ゼミ)、部活動等の同窓会の開催を支援する事業をスタートします。

支援の流れ

1

こぶし会事務局で申請書を入力。

2

2週間前までに申請(会員の参加30人以上が条件)。

3

代表者を確認して登録完了。

4

集合写真で20人の参加を確認して支援。

(電話・メール・ファクス)

※同窓会の様子を会報こぶし、ホームページに掲載することがあります。

# 工学アカデミア計画の充実を目指して

## 新たなる時代の幕開けとこぶし会

ご高承のように、本年5月1日を以て30有余年続いた「平成の時代」から「令和の時代」を迎えることになりました。このような新たなる時代の到来は、大いなる希望と共に素晴らしい発展が期待されます。

昭和32年6月、北陸電波学校として呱呱の声をあげた本学園は62年の歴史を着実に刻み、その間に巣立った卒業生は、保二会、高専同窓会そして大学同窓会を構成し、それら3同窓会から成る「こぶし会」の会員数は本年3月末を以て約7万5000人を数え、国内外に於いて活躍しています。

こぶし会会報には、第60号から工学アカデミア計画へのご協力を依頼してまいりましたが、本号においてはその進捗状況を以下に示し、更なるご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

## 夢考房プロジェクト事業と特別奨学事業

平成5年7月に開設した夢考房の利用者は年間延べ7万4000人を数え、知的な創造空間としてプロジェクトデザイン教育をはじめ、自らの研鑽に活用しています。取分け、現

在、13の夢考房プロジェクトは学内外からのご寄付を戴くことによって精力的な活動を継続することが可能となっています。そして、各プロジェクトにおいて培った「スキル」と「マインド」を後輩諸君に伝え、それらの伝統の下に然るべき成果を挙げてきています。

本学の教育目標は、学力のみならず、夢考房活動等に見られるように人間力を兼ね備えた「自ら考え行動する技術者」を育成することにあります。そのような人材を育成するために一昨年から給付型の特別奨学事業を開始しました。従来、本学園は国立大学等との差額分を「フェローシップ」として給付するほか、年間25万円を給付する「メンバーシップ」も授与してきています。更に高専に学ぶ諸君に対しても「特待生」として給付型奨学金を授与してきました。

## 各県こぶし会の寄付件数

これらの事業を達成するために、一昨年から北陸3県（石川、富山、福井）における優良企業200余社を表敬訪問し、本学園の現状をご説明申し上げると共に、工学アカデミア計画の一環である両事業へのご協力を依頼致しましたところ、多くの企業から心温まる前向きのご対応を賜ることが出来ました。



石川 憲一

特別奨学事業寄付金募集委員会 委員長  
金沢工業大学名誉学長

下表には、最近6年間に亘る各県こぶし会の地区別寄付者数（個人）を示します。同表からも明らかのように、平成25年度～28年度までは寄付総数は約130件で推移しておりましたが、特別奨学事業が開始された平成29年度からは寄付総数は300件を超え、卒業生各位のご協力が顕著に増加していることが分かります。また、ライブラリーセンターの図書購入費に充当される「古本活用事業」も昨年より新たに開始しております。

## 更なる飛躍のために

上述致しましたように、本学園に学ぶ後輩諸君に対する卒業生としてのお力添えは、「学園応援団」としてのこぶし会各位の熱情の表れであると心から感謝申し上げます。そして、今後とも更なるご協力によって、現状の寄付率0.5%を更に向上させて戴きたくお願い申し上げます。

平成25年度～30年度 こぶし会の地区別寄付者数（個人）

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
平成25年度	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	2	0	11	66	3	0	0	4	2	6	6	2	1	6	10	2	0	0	1	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	136	
平成26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	12	55	3	0	0	1	2	5	1	2	1	4	11	1	0	1	2	0	1	1	0	1	2	0	1	0	0	0	2	0	1	111		
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	70	1	0	0	1	1	2	5	2	5	9	10	0	0	2	2	4	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	132		
平成28年度	1	1	0	1	2	1	1	0	0	1	1	3	3	2	0	12	55	0	0	5	0	1	5	1	5	1	8	10	0	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	2	0	0	130	
平成29年度	4	2	0	2	4	2	1	2	4	6	16	6	20	7	9	14	109	0	3	14	2	12	9	1	3	3	19	20	0	4	3	2	2	0	4	1	5	0	3	0	1	0	1	2	0	0	322	
平成30年度	5	0	1	1	1	3	1	6	6	3	11	6	18	7	7	27	103	1	4	9	3	8	9	1	3	2	13	25	0	0	2	2	1	2	0	2	3	1	0	1	0	0	0	1	0	1	300	
個人累計	10	3	1	4	7	6	4	8	11	10	29	15	43	19	16	88	458	8	7	28	11	26	36	15	17	13	59	86	3	5	8	11	9	7	2	8	6	10	0	6	0	2	1	3	9	0	3	1,131
平成30年度 卒業生数 (就職先不明除く)	725	223	140	317	282	382	310	525	396	836	859	798	1,464	1,355	1,133	6,175	19,121	2,064	2,761	2,471	2,313	2,441	3,633	1,294	1,736	1,074	1,285	2,305	345	409	205	151	515	420	108	228	252	204	96	232	28	46	28	35	43	38	131	61,447
卒業生地区別比 (就職先不明除く)	1.2%	0.4%	0.2%	0.5%	0.5%	0.6%	0.3%	0.9%	0.6%	1.4%	1.4%	1.3%	2.4%	2.2%	5.1%	10.0%	31.1%	3.4%	0.4%	4.0%	3.8%	4.0%	5.9%	2.1%	2.8%	1.7%	2.1%	3.8%	0.6%	0.7%	0.3%	0.2%	0.8%	0.7%	0.2%	0.4%	0.3%	0.2%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	100.0%	
平成30年度 寄付率比 (寄付者数、卒業生)	0.7%	0.0%	0.7%	0.3%	0.4%	0.8%	0.3%	1.1%	1.5%	0.4%	1.3%	0.8%	1.2%	0.5%	0.2%	0.4%	0.5%	0.0%	1.4%	0.4%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	1.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.0%	1.3%	0.2%	0.5%	0.0%	0.9%	1.2%	0.5%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.8%	0.5%	

# ホームカミングデー 10月19日(土)・20日(日)

受付時間: 10:00~16:00



問い合わせ先/こぶし会事務局

## 鎮魂 (敬称略)

下記の方々がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

<正会員>  見生 雅人 (大学・土木・S52) 森 一彦 (大学・情報処理・S60) 大石 廣之 (大学・電子・S55) 櫻井 榮治 (大学・建築・S54) 池田 守 (保二会・S40) 藤村 亮介 (大学・建築・H10) 木沢 満 (保二会・S37) 後藤 雄治 (大学・建築・S52) 平成 17年 浅井 保喜 (大学・人間情報・H11) 平成 22年 6月 中谷 茂義 (保二会・S40) 平成 25年 6月 黒田 英樹 (大学・情報・H6) 平成 28年 後藤 良介 (大学・土木・S49) 坂田 伸一 (保二会・S38) 平成 29年 5月 西野 伸一 (保二会・S36)	9月 三宅 正雄 (大学・機械・S60) 11月 澤田 武志 (大学・電子・S57) 平成 30年 石田 浩富 (保二会・S36) 中村 真宏 (大学・機械・H21) 奥村 慎一 (大学・土木・H元) 1月 古川 正一 (保二会・S44) 押田 省三 (大学・電気・S44) 塚本 奨 (大学・機械システム・H4) 清水 一広 (大学・電気・S44) 2月 刈崎 昇 (保二会・S46) 3月 大久保 吉則 (大学・経営・S56) 4月 西山 騰 (大学・土木・S57) 5月 橋本 猛 (大学・機械・S47) 国松 直樹 (大学・機械・S58)	7月 倉本 良次 (大学・建築・S52) 嶋田 耕一 (大学・経営・S52) 8月 吉田 敏樹 (大学・土木・S48) 原 靖雄 (保二会・S38) 田代 雅稔 (大学・電子情報通信・H30) 9月 友實 卓司 (大学・経営・S53) 中川 邦彦 (保二会・S40) 10月 加藤 裕人 (高専・機械・H19) 川中 光一 (高専・機械・S46) 11月 寺西 勲 (大学・情報・H元) 石倉 晶弘 (保二会・S37) 12月 市川 武志 (大学・バイオ・H20) 川池 偉 (大学・土木・H8) 溝内 哲平 (大学院・機械・H24)	坂本 明雄 (大学・情報処理・S53) 平成 31年 1月 太田 徹 (大学・メディア情報・H23) 田上 邦治 (大学・土木・S54) 吉田 仁 (大学・電気・S61) 2月 照屋 秋洋 (大学院・建築・H19) 清水 一男 (保二会・S43) 吉田 幸一 (大学・経営・S55) 森岡 憲一 (大学・電気・S44) 3月 中島 健吾 (大学・ロボティクス・H29) 令和元年 5月 杉浦 久男 (大学・機械・S52)
--	---	--	---

## INFORMATION 『会報こぶし』へ皆さまの声

会員同士はもちろん、皆さんと学園をつなぐ唯一の情報誌である『会報こぶし』では、会員の皆さまからのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。

### ■ 送り先

Eメール (kobushi@kanazawa-it.ac.jp) もしくは同封のインフォメーションカードをご利用ください。※個人情報に関連する内容については掲載できませんのでご了承ください。

## 編集後記

◆今年も総会の年であり、3年の月日が経ちました。この間、金沢工科大学園の発展と歩調を合わせるように、こぶし会は学園との連携を一層強めています。学校の社会的な価値を決めるのは、卒業生の方の活躍に他なりません。ぜひ母校への誇りを持ってください。また、いつまでも母校とのつながりは大切にしてほしいです。同窓会の会員数は現在、7万4214人となっており、これだけの仲間がいる心強さを感じてもらえればと思います。

◆さて、こぶし祭 (10月19・20日) に合わせて、国際高専と金沢工大のホームカミングデーが開催されます。日々変わりゆくキャンパスには、たくさんの新しい施設が並んでいます。年代を問わず、久しぶりに母校に帰ってみると、意外な発見があるかもしれません。同級生を誘って一緒に訪れるのをお待ちしております。

／記 T.N

## こぶし会事務局人事

こぶし会事務局長  
谷口孝一



これまで卒業生の方と接してきた中で、先輩と後輩の垣根を超えて交流できる「こぶし会」には、大きく発展する未来があります。卒業生のつながりを深めていくには、一步一步着実に進んでいくしかありません。たくさんの卒業生の方々が参加する同窓会になってほしいと考えており、微力ながら全力を尽くしていきますので、よろしくお願いいたします。



# 全国一斉 ボウリング大会 BOWLING

第25回

令和元(2019)年  
11月上旬開催!

第25回全国一斉ボウリング大会を令和元(2019)年11月上旬に開催します。家族と一緒に参加できるイベントとして人気があり、こぶし会会員の家族ぐるみの付き合いにもつながっています。毎回参加している方も、今年が初めてという方も、参加をお待ちしております。各支部での開催会場などの詳細につきましては、後日、こぶし会ホームページでお知らせいたします。



ご家族でお気軽に  
ご参加ください!

- 参加資格 … こぶし会会員およびそのご家族
- 参加費 … 2,000円(ご家族1,000円)
- 会場 … こぶし会ホームページをご覧ください。  
<http://www.kobushi.jp>

## 第23回 | こぶし会ゴルフ大会

令和元(2019)年  
9月14日(土)開催  
石川県加賀市・片山津ゴルフ倶楽部

先着  
80人

卒業生と一緒に  
ナイスショット!

ゴルフを通じて会員や学園関係者らが親交を温める機会となっています。ぜひ一緒にプレーしてみませんか。  
※詳しくはこぶし会事務局へお問い合わせください。



## サマーセッションin 穴水

こぶし会では、夏の思い出づくりにぴったりのイベント「サマーセッション in 穴水」を穴水湾自然学苑で開催しています。毎年、ホームページで参加者を募集していますので、皆さんの応募をお待ちしております。

※今年度の募集は終了いたしました。



### こぶし会を日本一の同窓会組織に！ 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7(1995)年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**74,214人の会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている未納入の方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)  
お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。住所等の訂正がございましたらインフォメーションカードでご返送ください。

#### 対象者

- 保二会全会員
- 高専同窓会(令和2年3月末日で40歳以上の会員)
- 大学同窓会(令和2年3月末日で40歳以上の会員)

\*会費の納入は80歳までとさせていただきます。  
\*平成28年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、平成31年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

こぶし会  
事務局

『会報こぶし』は、懐かしい学園の香りをあなたにお届けできる唯一の情報誌です。

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号 金沢工業大学内  
TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886  
Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.http://www.kobushi.jp



QRコードで  
ホームページを  
チェック!

第19回こぶし会  
「お楽しみ抽選会」  
応募券  
2019